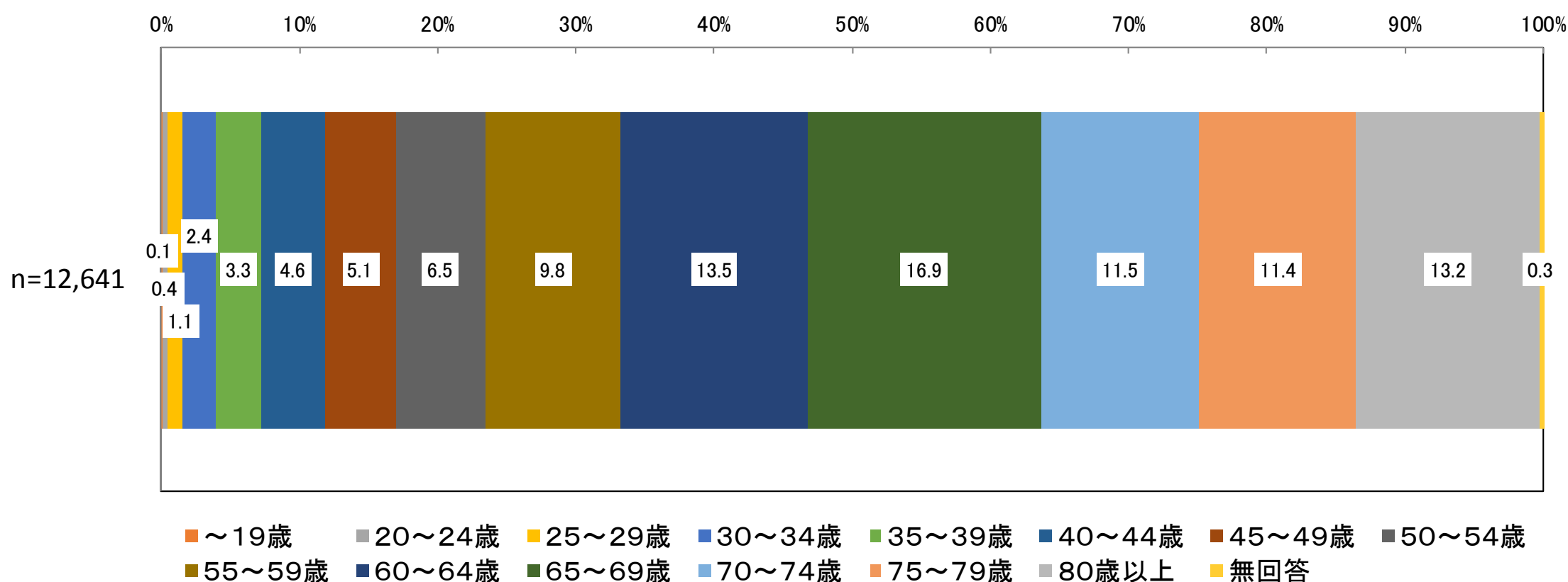


# 生活再建に関するアンケート調査 調査結果（速報版）

## 内閣府原子力被災者生活支援チーム

### 調査の概要

1. 調査目的 : 避難指示区域における解除の進展や支援措置の変化等により、生活環境に変化が生じてきている方々もおられる中、住まい、就労、健康的な暮らしについて、必要な情報が行き届いているか、必要な相談ができているか、様々な支援策が活用されているか等を確認し、支援機関間の連携強化や施策の改善等に繋げるため、アンケート調査を実施。
2. 調査主体 : 内閣府原子力被災者生活支援チーム  
避難指示区域等に指定された12市町村（※）  
（※）田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村
3. 実施時期 : 平成30年4月17日～5月7日
4. 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）  
調査対象は各世帯の代表者（36,268世帯）
5. 主な調査項目 : 住まい、就労、健康的な暮らしなど
6. 回答世帯数 : 12,641世帯（34.9%）  
うち、関係機関への個人情報共有承諾数 : 2,660世帯  
（氏名及び電話番号記載あり : 1,851世帯）  
※参考 : 他の調査の回収率  
住民意向調査（平成29年度） : 48.3%（実施市町村全体平均）  
福島県避難者意向調査（平成27年度） : 32.9%
7. 回答者の属性（年齢）



# 調査結果のポイント

## 1. 回答世帯の基本属性

- ・回答者の年齢構成は、60歳以上が67%。
- ・60歳以上の回答者では、「単身（一人）世帯」、「夫婦のみ世帯」の回答割合は52～66%。
- ・現在の居住地の回答割合は、帰還済みが17%、県内居住が54%、県外居住が19%。

## 2. 住まい

- ・現在の住まいとして、持ち家に居住している回答者は58%。
- ・希望する住まいを実現する上での課題として、全体では、「困っていることはない」の回答割合が34%。
- ・相談時の課題として、「相談しても適切な助言が得られそうにない」の回答割合が27%、「相談先や相談方法がわからない」が15%。

## 3. 就労

- ・主たる家計の維持者の震災前後の職業を比べると、「無職(主婦・主夫を含む)」が23%から44%へ増加。
- ・今後の仕事に対する意向として、「新たな仕事に就きたい（転職を含む）」の回答割合が60歳未満でも2割程度存在。
- ・当面仕事をするつもりはない理由として、60歳未満でも「収入・貯蓄があるため（年金を受給しているためなど）」（13～25%）がいる一方で、「健康に不安があるため」（9～49%）、「しっかり働けるか自信がないため」（20～36%）も一定数存在。
- ・新たな仕事に就きたい（転職を含む）と回答した者のうち、「一度も就職・転職活動を行っていない」の回答割合が22%。現在、無職の者に限ると13%。
- ・就職、転職活動の内容として、「ハローワークへの申込み」の回答割合が64%と最も多い。
- ・就職、転職に至らない理由は多岐にわたっており、個別に支援が必要。（例えば、50歳代でも「求人の年齢と自分の年齢が合わない」の回答割合が18%）
- ・就職活動別の活用したい支援策として、「特にない」の回答割合が24%あるが、「避難者専用の相談窓口の設置」、「働きやすい職場から試しに働いてみる仕組み」、「研修(職業能力向上・資格取得など)」の回答割合が高い。

## 4. 健康的な暮らし

- ・回答者自身の健康面での状況は、全体として、「特に問題はない」の回答割合が66%。「精神面の問題で日常生活に支障がある」の回答割合は各世代で10%程度存在。年齢が上がるにつれ、「身体面の問題で日常生活に支障がある」の回答割合が高くなっている（70歳代以上では22～38%）。
- ・相談時の課題として、「課題はない」の回答割合が全体で24%いる一方、「相談しても適切な助言が得られそうにない」が25%、「相談先や相談方法がわからない」が12%。
- ・地域とのつながりがあると「とても感じる」、「どちらかといえば感じる」の回答割合は合わせて40%であるのに対して、「感じない」と「どちらかといえば感じない」は合わせて49%。
- ・地域での活動は、「地域の集まり」、「ボランティア活動」、「身体を動かす活動」の回答割合が各20%程度だが、「何も参加していない」も50%。何も参加していないと回答した者のうち、「参加する意向がない」の回答割合が28%。「参加してもなじめそうにもない」、「どんな活動があるかわからない」も20%程度存在。

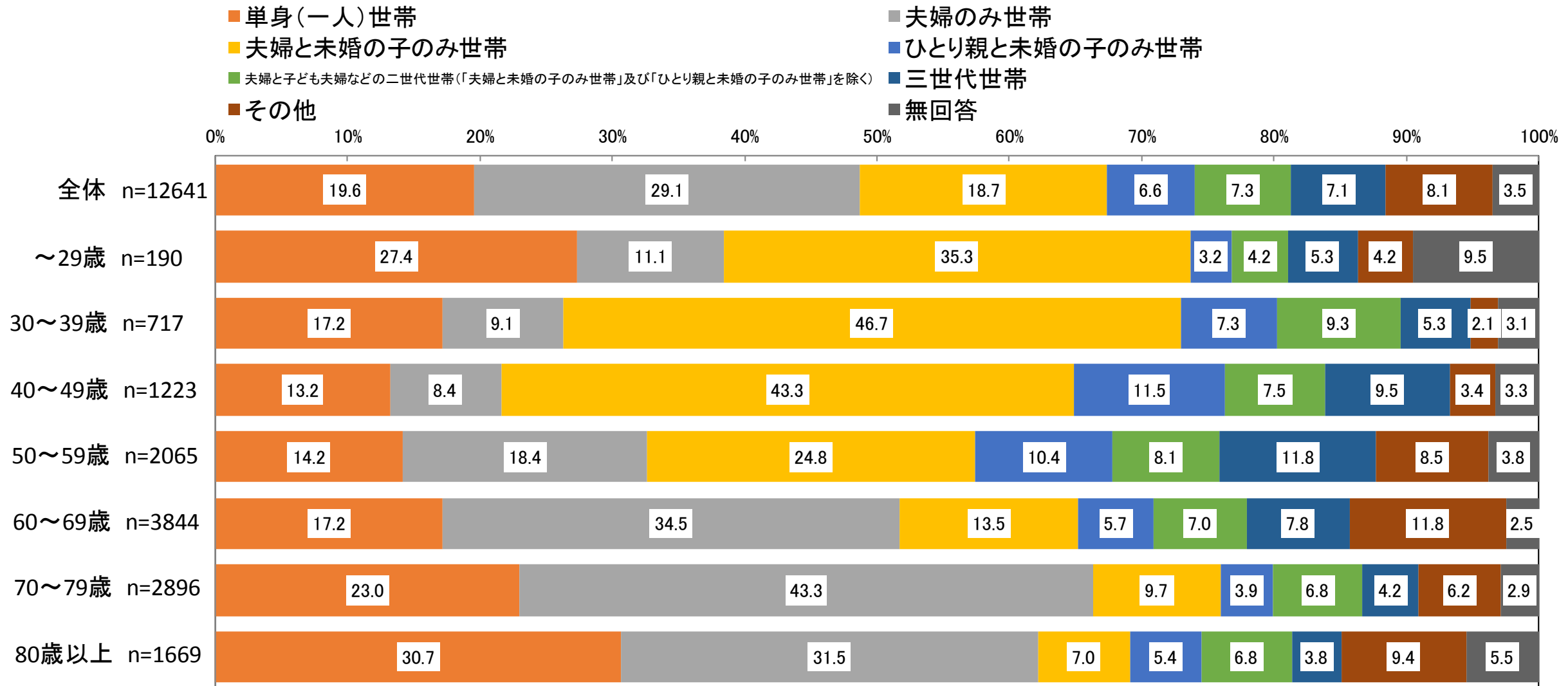
## 5. 生活再建全般

- ・生活再建に必要な情報は、「福島県・避難元市町村の行政サービス情報」の回答割合が45%、「医療・健康・福祉に関する情報」が40%、「避難先の行政サービス情報」が25%、「特にない」も19%存在。
- ・情報の入手状況としては、「十分に入手できている」と「ある程度入手できている」の回答割合は合わせて68%であるのに対して、「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」は合わせて28%。
- ・「戸別訪問を受けたことはない」の回答割合は42%。「今も戸別訪問を受けている」の回答割合は、帰還者が22%、県内居住者が20%であり、県外居住者に比べて割合が高い。

# 1. 回答世帯の基本属性

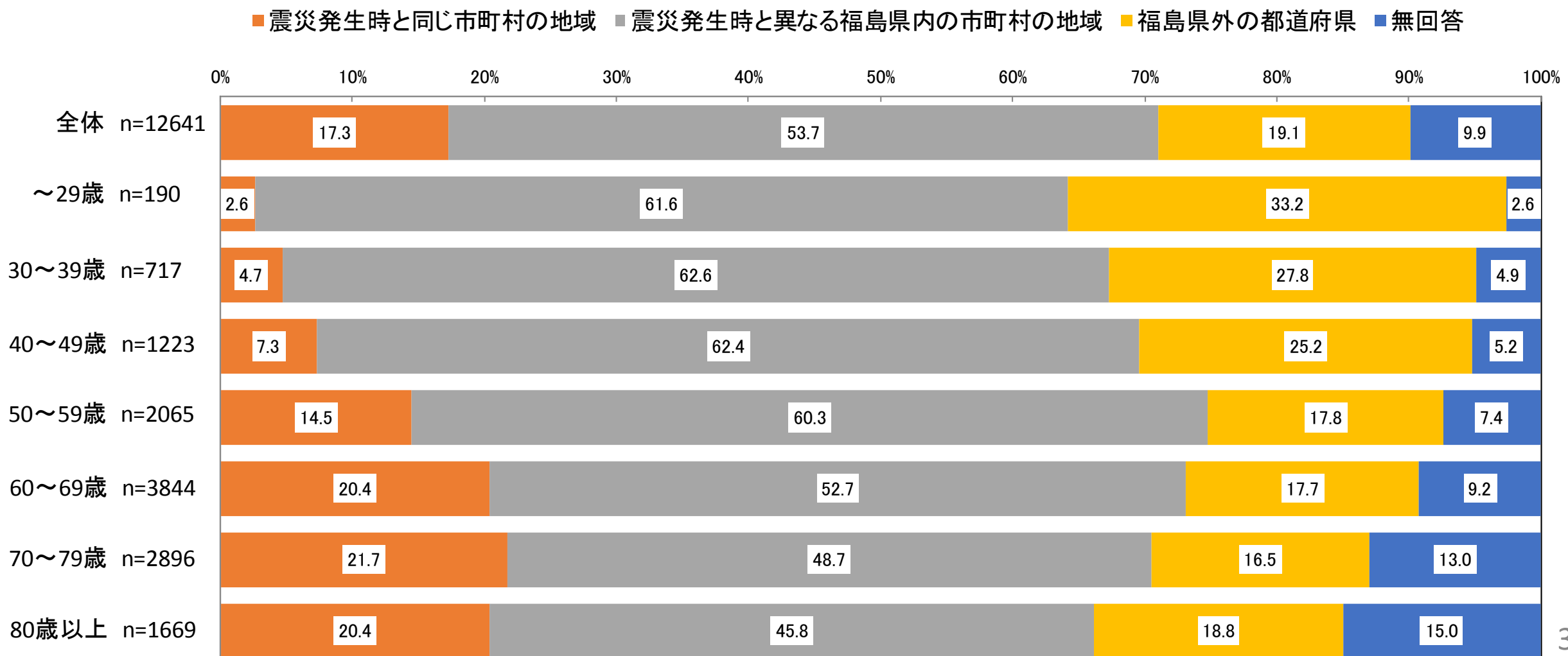
## 世帯構成

- 世帯構成としては、全体では、「夫婦のみ世帯」が29%、「夫婦と未婚の子のみ世帯」が19%、「単身（一人）世帯」が20%となっている。
- 60歳以上の回答者では、「単身（一人）世帯」、「夫婦のみ世帯」の割合が高い。



## 現在の居住地

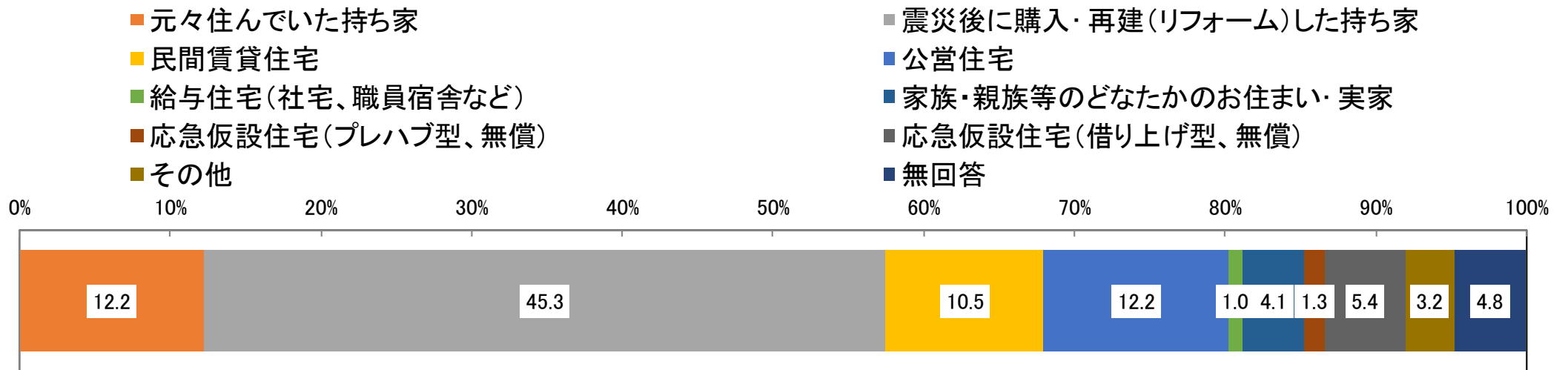
- 現在の居住地は、全体として、「震災発生時と同じ市町村の地域」が17%、「震災発生時と異なる福島県内の市町村の地域」が54%、「福島県外の都道府県」が19%となっている。
- 60歳以上の回答者では、「震災発生時と同じ市町村の地域」へ帰還されている世帯の割合が高くなる。他方で、60歳未満の回答者では、「震災発生時と異なる福島県内の市町村の地域」、「福島県外の都道府県」の割合が高くなる。



# 2. 住まい

## 現在の住まい

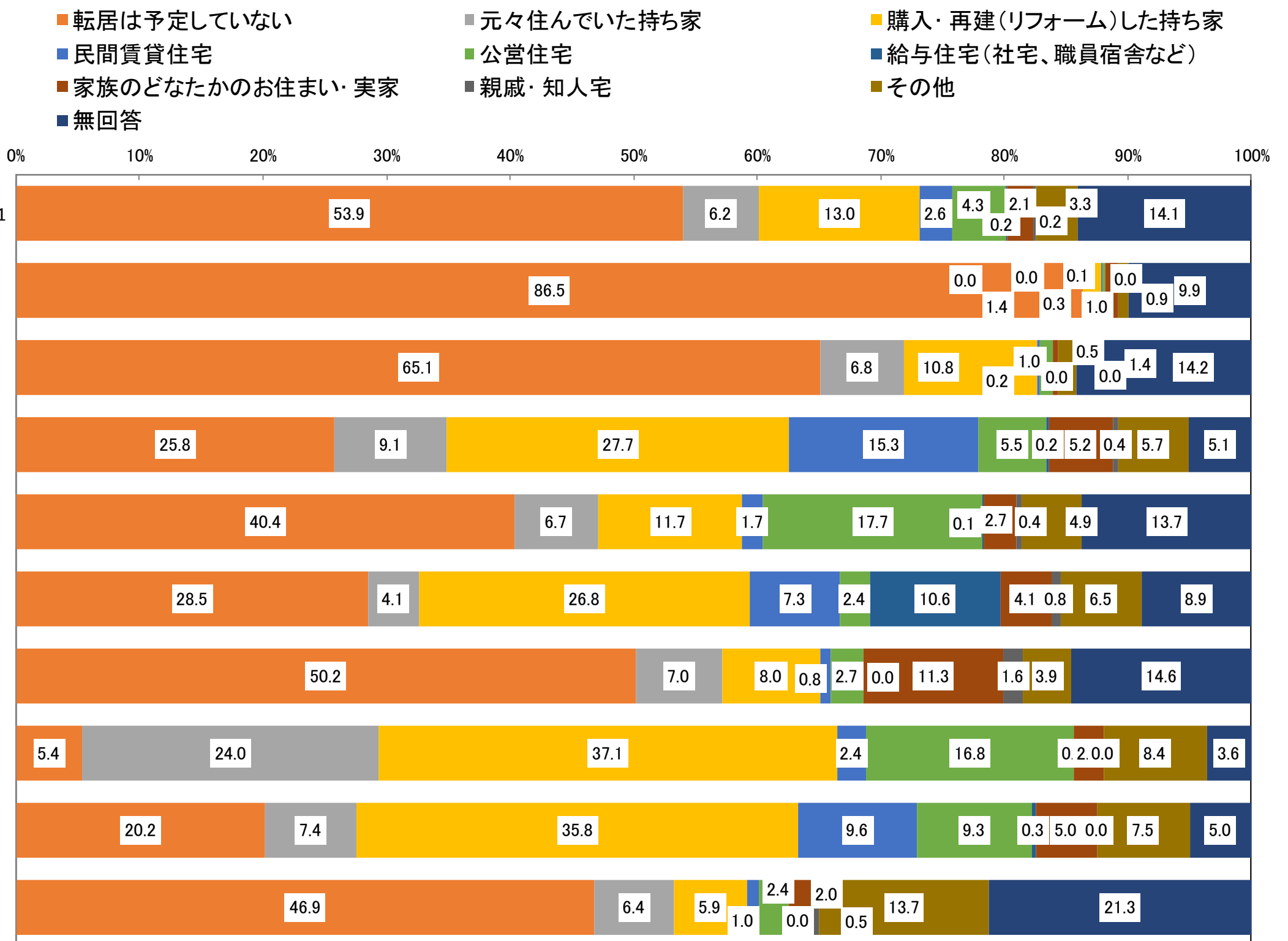
○現在の住まいとして、全体では、「元々住んでいた持ち家」に居住している回答者が12%、「震災後に購入・再建（リフォーム）した持ち家」に居住している回答者が45%となっている。



## 転居希望の住まい

○現在の住まい別に転居希望の住まいを見てみると、既に持ち家を有している世帯、公営住宅に入居している世帯、家族・親族等のお住まい・実家に入居している世帯は、「転居は予定していない」の割合が最も多い。

○仮設住宅、民間賃貸、及び、給与住宅に入居している世帯は、「震災後に購入・再建（リフォーム）した持ち家」への転居希望の割合が高い。



# 2. 住まい

## 希望する住まいを実現する上での課題

- 希望する住まいを実現する上での課題として、全体では、「困っていることはない」の割合が高い。また、「住居確保賠償の申請の方法が分からない」が11%である。
- 転居希望先別にみると、民間賃貸住宅への転居を希望している回答者は、「住居確保賠償の申請の方法が分からない」、「住宅の申込みや入居や引っ越しのための手続きが難しい」の割合が他に比べて高い。他方で、公営住宅への転居を希望している回答者は、「住宅の申込みや入居や引っ越しのための手続きが難しい」の他、「保証人が確保できない」という回答も16%存在。

### 【転居希望先別】

※複数回答

	調査数	困っていることはない	引っ越しの申込みや入居や引っ越しのための手続きが難しい	保証人が確保できない	住居確保賠償の申請の方法が分からない	引っ越し業者が見つからない	建築・リフォーム・業者がみつからない	相談先がわからない	その他	無回答
全体	4045	1365	382	214	456	276	327	984	693	
	100.0	33.7	9.4	5.3	11.3	6.8	8.1	24.3	17.1	
今後の転居予定と住まいへの希望	元々住んでいた持ち家	786	260	37	10	44	118	44	203	153
		100.0	33.1	4.7	1.3	5.6	15.0	5.6	25.8	19.5
	購入・再建(リフォーム)した持ち家	1646	678	112	46	187	119	117	383	229
		100.0	41.2	6.8	2.8	11.4	7.2	7.1	23.3	13.9
	民間賃貸住宅	329	122	61	44	74	6	47	34	30
		100.0	37.1	18.5	13.4	22.5	1.8	14.3	10.3	9.1
	公営住宅	546	112	130	89	74	13	58	89	121
		100.0	20.5	23.8	16.3	13.6	2.4	10.6	16.3	22.2
	給与住宅(社宅、職員宿舎など)	21	13	3	-	3	1	-	-	2
	100.0	61.9	14.3	-	14.3	4.8	-	-	9.5	
家族のどなたかのお住まい・実家	270	118	13	4	23	7	15	58	55	
	100.0	43.7	4.8	1.5	8.5	2.6	5.6	21.5	20.4	
親戚・知人宅	26	6	2	3	2	1	3	3	10	
	100.0	23.1	7.7	11.5	7.7	3.8	11.5	11.5	38.5	
その他	421	56	24	18	49	11	43	214	93	
	100.0	13.3	5.7	4.3	11.6	2.6	10.2	50.8	22.1	

## 2. 住まい

### 相談先

○住まいに関する相談先として、全体では、「どこにも相談していない」が29%、次いで、「家族等」が24%、「民間事業者（不動産会社など）」が15%となっている。

※複数回答

	調査数	市民協福島	市町村や都道府県	社会福祉協議会（生活支援相談員など）	県外避難者向け相談窓口	民間事業者（不動産会社など）	家族、親戚、知人、友人	その他	どこにも相談していない	無回答
全体	1987	23	206	95	52	306	470	81	569	523
	100.0	1.2	10.4	4.8	2.6	15.4	23.7	4.1	28.6	26.3

### 相談時の課題

○相談時の課題として、全体では、「相談しても適切な助言が得られそうにない」の割合が高くなっており、次いで、「相談先や相談方法がわからない」となっている。

※複数回答

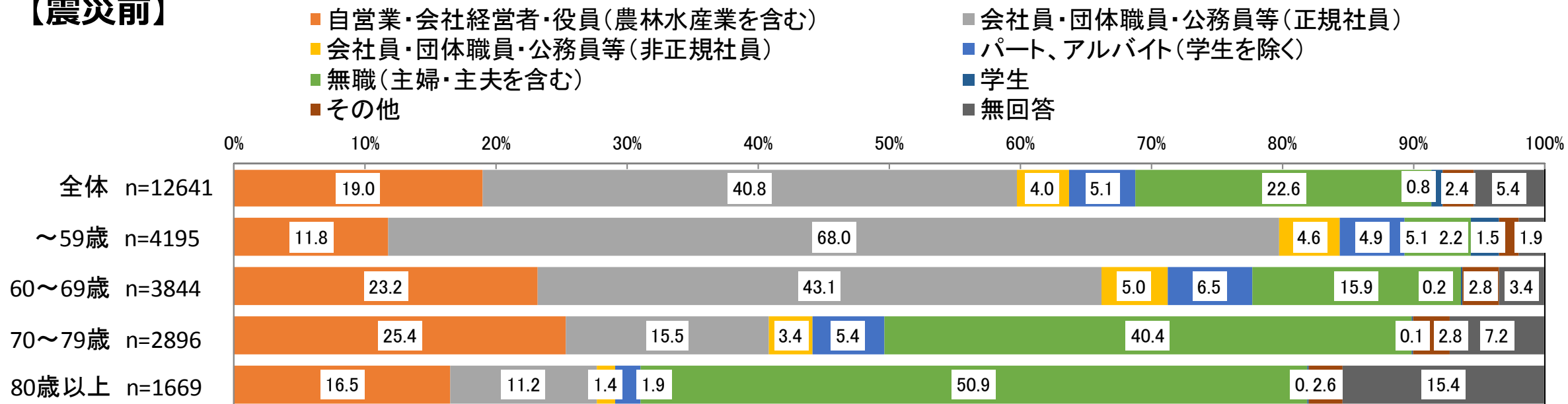
	調査数	相談先や相談方法がわからない	相談先が遠い	相談先への移動が困難	相談窓口の時間が合わない	相談の手間が煩雑	相談しても適切な助言が得られそうにない	その他	課題はない	無回答
全体	1987	294	231	191	154	252	526	263	184	611
	100.0	14.8	11.6	9.6	7.8	12.7	26.5	13.2	9.3	30.7

# 3. 就労

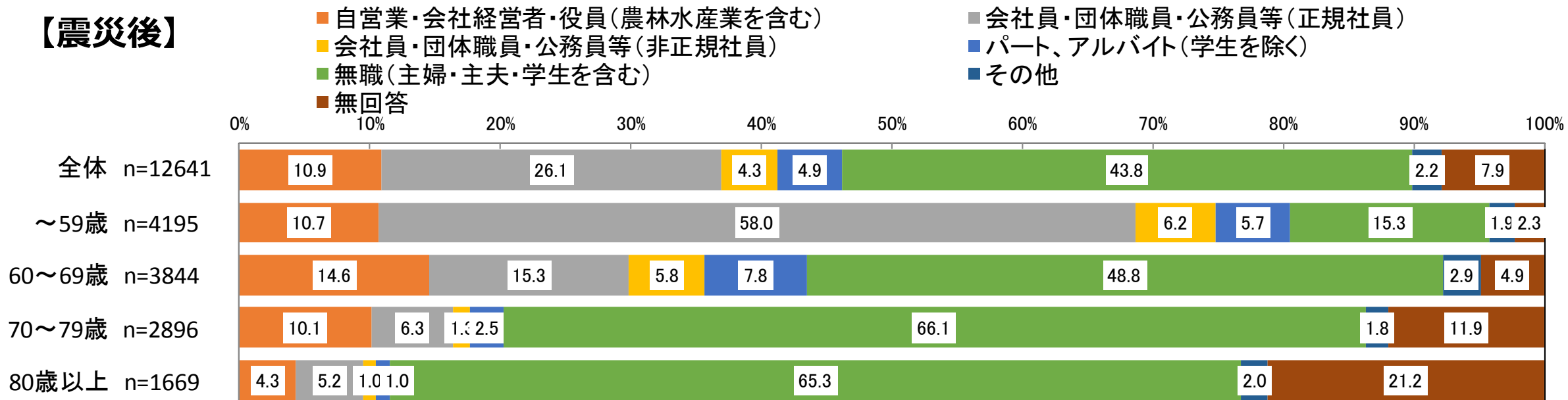
## 職業

- 主たる家計の維持者の震災前の職業は、60歳未満においては「正規社員」の割合が高い。回答者の年齢が上がるにしたがって、「自営業・会社経営者・役員」、「無職」の割合が高くなる。
- 主たる家計の維持者の震災前後の職業を比べると、「無職(主婦・主夫を含む)」の割合が23%から44%へ増加している。
- 震災前の職業別にみると、震災前に「非正規社員」、「パート・アルバイト」だった者は、「無職」になる割合が高い。

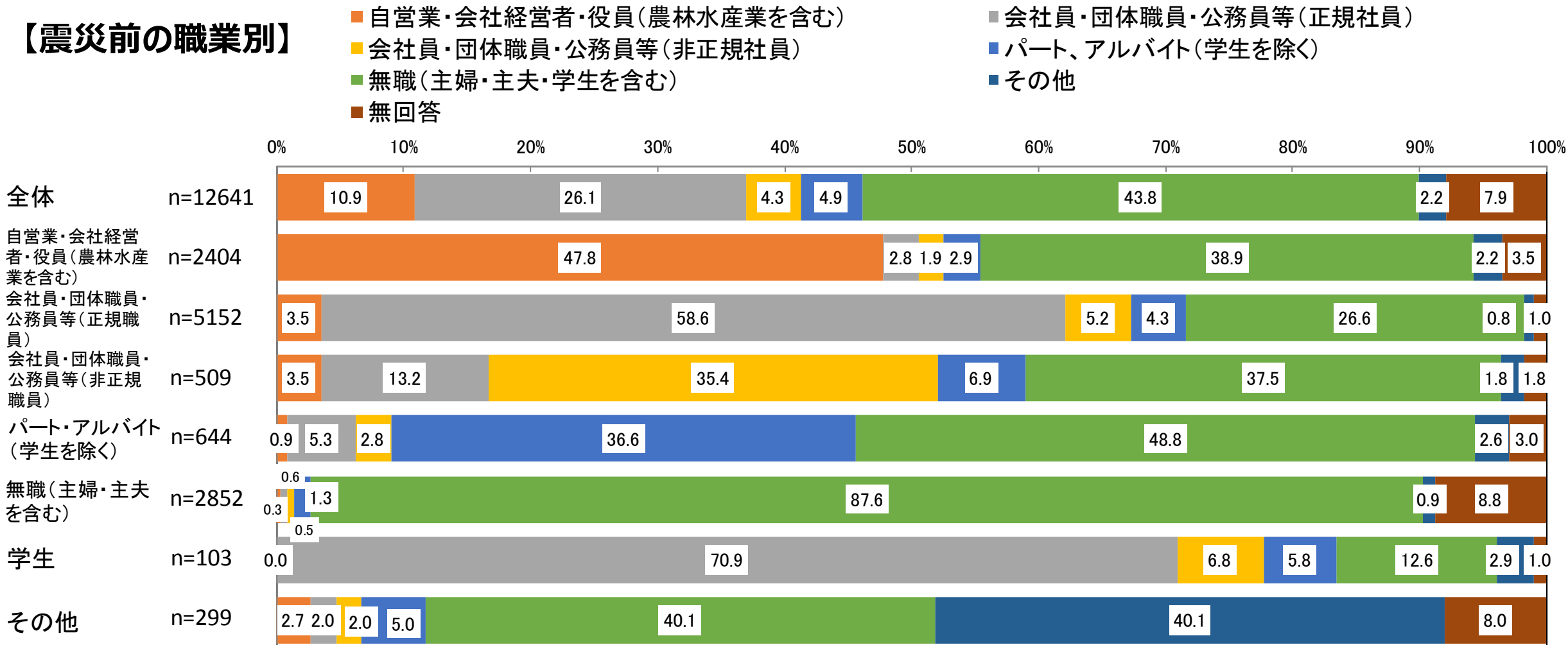
### 【震災前】



### 【震災後】



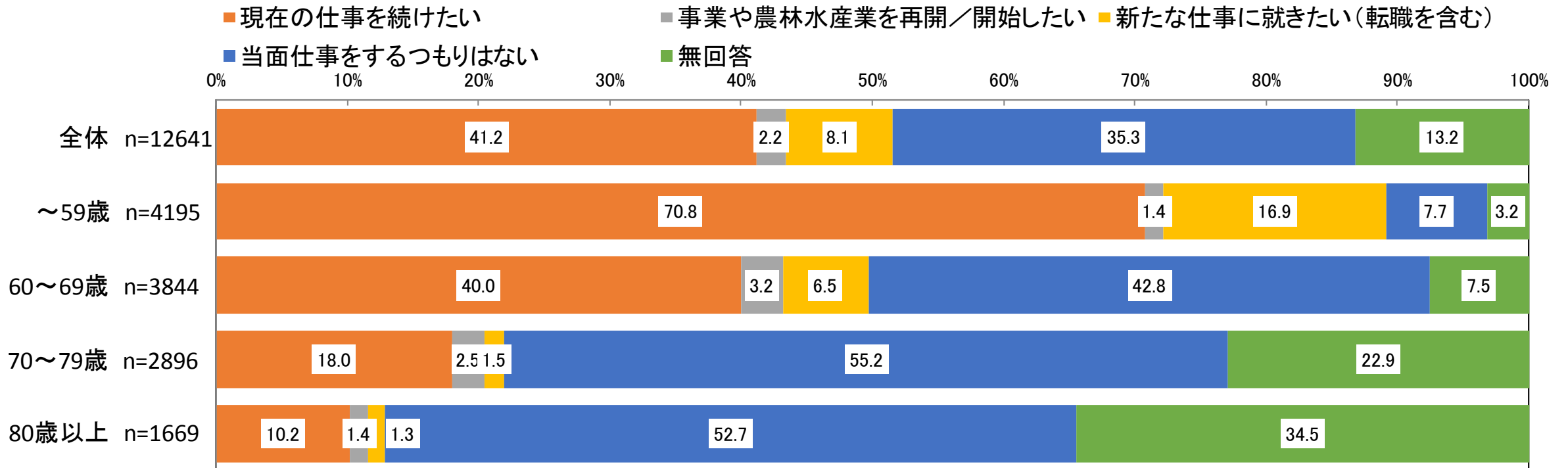
### 【震災前の職業別】



# 3. 就労

## 今後の仕事に対する意向

○今後の仕事に対する意向は、60歳未満の回答者では「現在の仕事を続けたい」、「新たな仕事に就きたい（転職を含む）」の割合が高くなっている。他方で、60歳以上の回答者では、「当面仕事をするつもりはない」の回答割合が高い。



## 当面仕事をするつもりがない理由

- 当面仕事をするつもりがない理由として、全体として、「働こうという気になれないため」という回答割合が9%程度存在する。
- 60歳以上では、「収入・貯蓄があるため」の回答割合が高くなっている。他方で、60歳未満では、「健康に不安があるため」、「しっかり働けるか自信がないため」の回答割合が高くなっている。

※複数回答

	調査数	収入・貯蓄があるため (年金を受給しているため)	健康に不安があるため	希望する職業がないため	出産・育児のため	介護・看護のため	働こうという気になれないため	がっかりしたり働けるか自信がないため	その他	無回答	
											割合
全体	4462	2183	1208	208	21	320	410	709	831	145	
	100.0	48.9	27.1	4.7	0.5	7.2	9.2	15.9	18.6	3.2	
年齢	~59歳	325	73	136	38	15	52	51	76	52	8
		100.0	22.5	41.8	11.7	4.6	16.0	15.7	23.4	16.0	2.5
	60~69歳	1645	864	464	111	5	148	191	293	189	30
		100.0	52.5	28.2	6.7	0.3	9.0	11.6	17.8	11.5	1.8
	70~79歳	1598	795	422	50	1	57	118	267	330	58
	100.0	49.7	26.4	3.1	0.1	3.6	7.4	16.7	20.7	3.6	
80歳以上	879	445	180	9	-	61	50	73	255	49	
	100.0	50.6	20.5	1.0	-	6.9	5.7	8.3	29.0	5.6	





# 3. 就労

## 就職・転職活動の状況

### 【就職・転職に至らない理由】

○就職・転職に至らない理由として、60歳未満では「賃金・給料が希望とあわない」、「勤務時間・休日などが希望とあわない」と答える割合が高い。他方で、60歳以上では「求人の年齢と自分の年齢が合わない」の割合が高く、28%以上となっている。

	調査数	賃金・給料が希望とあわない	勤務時間・休日などが希望とあわない	勤務場所が希望とあわない（在宅勤務を含む）	雇用形態が希望とあわない	求人の年齢と自分の年齢が合わない	自分の技術や技能が求人要件に満たない	希望する種類・内容の仕事がない	条件にこだわらないが、仕事がない	応募したが、採用に至らなかった	その他	無回答
全体	730	84	49	25	26	120	38	81	29	51	72	155
	100.0	11.5	6.7	3.4	3.6	16.4	5.2	11.1	4.0	7.0	9.9	21.2
年齢	～59歳	503	77	34	20	56	29	62	11	35	56	103
		100.0	15.3	6.8	4.0	4.0	11.1	5.8	2.2	7.0	11.1	20.5
	60～69歳	196	7	14	4	6	55	9	17	14	11	43
		100.0	3.6	7.1	2.0	3.1	28.1	4.6	8.7	7.1	5.6	21.9
	70～79歳	24	-	-	1	-	8	-	2	1	2	4
	100.0	-	-	4.2	-	33.3	-	8.3	4.2	8.3	16.7	25.0
80歳以上	7	-	1	-	-	1	-	-	1	-	1	3
	100.0	-	14.3	-	-	14.3	-	-	14.3	-	14.3	42.9

### 【活用したい支援策】

○活用したい支援策として、活動状況別にみると、「就職・転職活動を現在行っている」人は、「応募前の企業への見学」への回答割合が他に比べて高い。他方で、「一度も就職・転職活動は行っていない」人は、「就職セミナー」、「在宅勤務（テレワークなど）が可能な仕事の紹介」への回答割合が他に比べて高い。

※複数回答

	調査数	（職種毎の短期間で）の職業訓練	就職・転職セミナー（年代別など）（業種別）	研修・資格取得など（向上）	応募前の企業への見学	働きやすい仕事を職場から探す	在宅勤務（テレワーク）が可能な仕事の紹介	在宅勤務（テレワーク）が可能な仕事の紹介	避ける者専用の相談窓口	訪問支援機関による戸別訪問	その他	特になし	無回答
全体	1022	171	199	235	129	237	110	245	66	36	246	138	
	100.0	16.7	19.5	23.0	12.6	23.2	10.8	24.0	6.5	3.5	24.1	13.5	
活動状況	就職・転職活動を現在行っている	473	81	89	123	74	108	46	116	32	11	114	62
		100.0	17.1	18.8	26.0	15.6	22.8	9.7	24.5	6.8	2.3	24.1	13.1
	以前は就職・転職活動を行っていたが、就職・転職に至らず断念した	257	50	47	57	24	60	27	73	17	11	58	26
	100.0	19.5	18.3	22.2	9.3	23.3	10.5	28.4	6.6	4.3	22.6	10.1	
一度も就職・転職活動を行っていない	222	35	56	49	27	51	35	47	14	12	68	16	
	100.0	15.8	25.2	22.1	12.2	23.0	15.8	21.2	6.3	5.4	30.6	7.2	

# 4. 健康的な暮らし

## 心身における健康面の状況

○回答者自身の健康面での状況は、全体として、「特に問題はない」の回答割合が66%である。また、「精神面の問題で日常生活に支障がある」の回答割合が11%となっている。

### 【回答者自身】

※複数回答

	調査数	場 合 も 含 む )	常 生 活 に 支 障 は な い 日	を 抱 え て い る レ ス ス	身 の 悩 み は な い 心	特 に 問 題 は な い 心	あ る 方 が い る ／	生 活 に 支 障 が あ る 日 常	身 体 面 の 問 題 が あ る 日 常	あ る 方 が い る ／	生 活 に 支 障 が あ る 日 常	精 神 面 の 問 題 が あ る 日 常	無 回 答
全 体	12641			8376		2384		1361			1137		
	100.0			66.3		18.9		10.8			9.0		
年 齢	～29歳			190		153		18			7		
		100.0		80.5		9.5		3.7					
	30～39歳			717		575		57			21		
		100.0		80.2		7.9		2.9					
	40～49歳			1223		939		132			45		
		100.0		76.8		10.8		3.7					
	50～59歳			2065		1524		283			98		
		100.0		73.8		13.7		4.7					
60～69歳			3844		2773		616			271			
	100.0		72.1		16.0		7.0						
70～79歳			2896		1740		642			394			
	100.0		60.1		22.2		13.6						
80歳以上			1669		656		627			292			
	100.0		39.3		37.6		17.5						

## 相談先

○心身における健康面の相談先は、「医療機関」が60%、「介護サービス機関」が21%、「社会福祉協議会（生活支援相談員など）」が18%となっている。

※複数回答

	調査数	医 療 機 関	心 の ケ ア セ ン タ ー	県 ・ 市 町 村 相 談 窓 口	介 護 サ ー ビ ス 機 関	活 支 援 相 談 員 な ど （ 生	社 会 福 祉 協 議 会 （ 生	復 興 支 援 員	P O 法 人 な ど （ N	民 間 の 相 談 機 関 （ N	そ の 他	な い ど こ に も 相 談 し て い	無 回 答
全 体	4666	2810	223	299	981	858	153	66	142	758	300		
	100.0	60.2	4.8	6.4	21.0	18.4	3.3	1.4	3.0	16.2	6.4		

## 相談した時／しようとした時の課題

○相談時の課題としては、「相談しても適切な助言が得られそうにない」の回答割合が25%となっている一方で、「課題はない」も24%となっている。

※複数回答

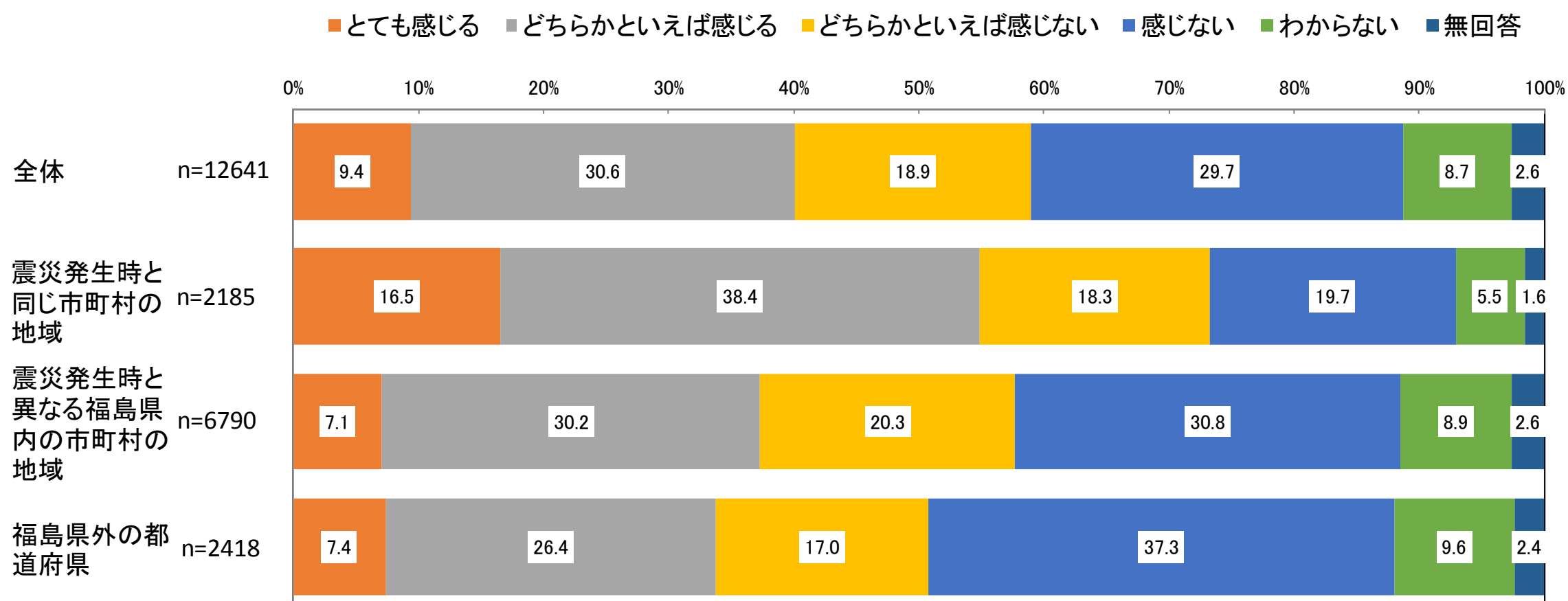
	調査数	相 談 先 が 遠 い	相 談 先 へ の 移 動 が 困 難	相 談 先 の 時 間 が 合 わ	相 談 の 手 間 が 煩 雑	相 談 し て も 適 切 な 助 言	そ の 他	課 題 は な い	無 回 答
全 体	4666	536	490	428	249	399	1154	303	1205
	100.0	11.5	10.5	9.2	5.3	8.6	24.7	6.5	25.8

# 4. 健康的な暮らし

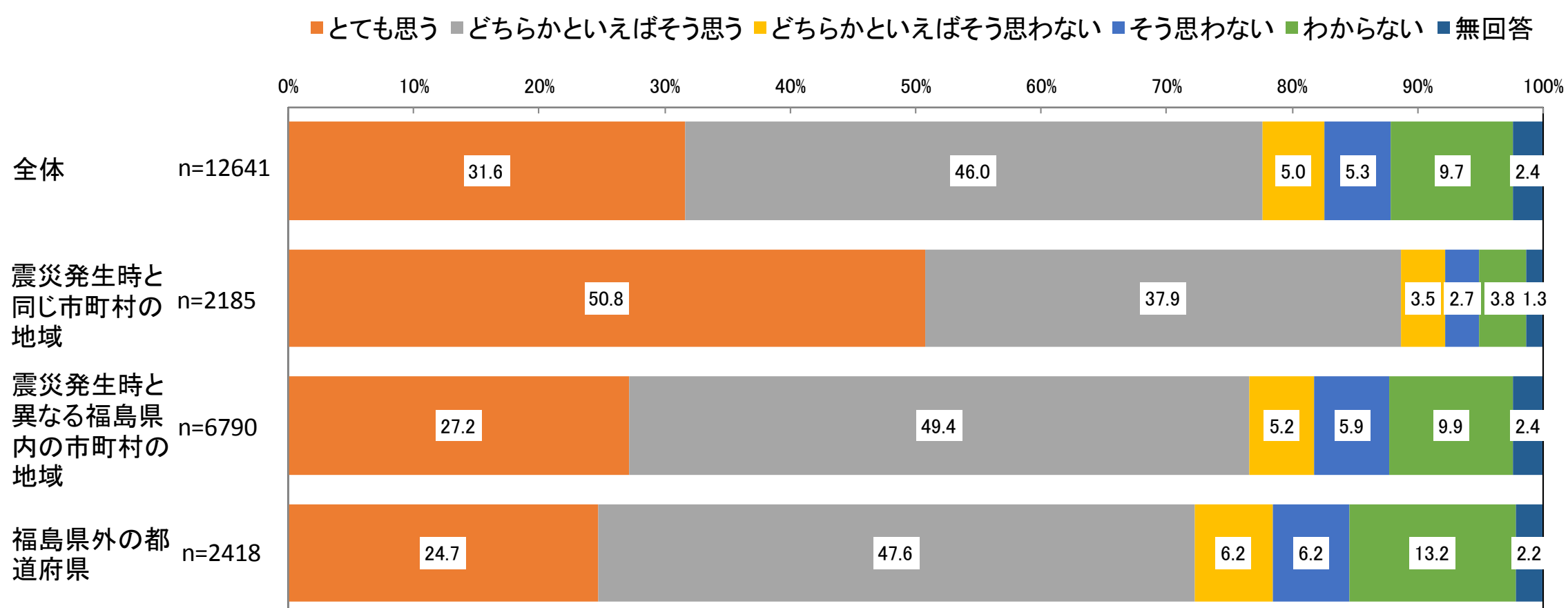
## 地域での交流

- 現在の地域での交流について、帰還済み世帯は、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせて55%と高い。「感じない」「どちらかといえば感じない」の合計は、県内避難者で51%、県外避難者で54%と高い。
- 必要性について、帰還済み世帯は、「とても思う」「どちらかといえばそう思う」合わせて89%と高い。県内避難世帯、県外避難世帯でも72~77%となるが、「わからない」も10%程度存在。

### 【現在】



### 【必要性】



# 4. 健康的な暮らし

## 参加している／したことがある地域の活動

○地域の活動に「何も参加していない」の回答割合は50%である。

○「地域の集まり」、「ボランティア活動」、「身体を動かす活動」の回答割合は、いずれも17%～20%となっている。

※複数回答

	調査数	地域の集まり（祭、子育て交流など）	ボランティア活動（清掃、見回りなど）	地域に役立つ活動（ラウンジ、家庭菜園など）	身体を動かす活動（ウォーキング、ヨガ、体操など）	教室、家庭菜園など	文化的活動（お茶、音楽、料理、手芸など）	その他	何も参加していない	無回答
全体	12641	2535	2577	2124	946	634	6314	513		
	100.0	20.1	20.4	16.8	7.5	5.0	49.9	4.1		

## 地域の活動に参加する上での課題

○地域の活動に「何も参加していない」と回答した世帯では、「参加する意向がない」の回答割合が28%である。次いで、「参加してもなじめそうもない」が20%、「どんな活動があるかわからない」が19%となっている。

○60歳以上では「意欲はあるが、適当な活動がない」の回答割合が高く、60歳未満では「活動に参加する時間が合わない」の回答割合が高い。

※複数回答

	調査数	意欲はあるが、適当な活動がない	活動場所が遠い	活動場所までの移動が困難	活動に参加する時間が合わない	参加してもなじめそうもない	どんな活動があるかわからない	その他	参加する意向がない	無回答	
全体	6314	819	264	273	951	1275	1186	401	1778	672	
	100.0	13.0	4.2	4.3	15.1	20.2	18.8	6.4	28.2	10.6	
年齢	～29歳	138	10	9	4	35	21	37	5	43	5
		100.0	7.2	6.5	2.9	25.4	15.2	26.8	3.6	31.2	3.6
	30～39歳	468	41	21	10	118	94	94	19	155	29
		100.0	8.8	4.5	2.1	25.2	20.1	20.1	4.1	33.1	6.2
	40～49歳	739	63	18	15	161	148	139	33	246	56
		100.0	8.5	2.4	2.0	21.8	20.0	18.8	4.5	33.3	7.6
	50～59歳	1213	151	35	22	259	258	256	63	332	117
		100.0	12.4	2.9	1.8	21.4	21.3	21.1	5.2	27.4	9.6
60～69歳	1845	287	71	49	258	403	355	108	477	206	
	100.0	15.6	3.8	2.7	14.0	21.8	19.2	5.9	25.9	11.2	
70～79歳	1116	181	58	62	90	230	187	69	291	156	
	100.0	16.2	5.2	5.6	8.1	20.6	16.8	6.2	26.1	14.0	
80歳以上	780	83	50	110	28	118	117	104	231	101	
	100.0	10.6	6.4	14.1	3.6	15.1	15.0	13.3	29.6	12.9	

# 4. 健康的な暮らし

## 今後参加したい活動

○地域の活動に対して「意欲はあるが、適切な活動がない」と回答した者で、今後参加したい活動については「身体を動かす活動」の回答割合が33%となっている。

※複数回答

	調査数	地域の集まり（祭、交流会、カラオケなど）	地域に役立つ活動（清掃、見回りなど）	ランドゴルフ、ボウリング、家庭菜園など	身体を動かす活動（ラウンドゴルフ、体操教室、家庭菜園など）	文化的活動（お茶、音楽など）	その他	無回答
全体	819	140	164	268	89	92	243	
	100.0	17.1	20.0	32.7	10.9	11.2	29.7	

# 5. 生活再建全般

## 生活再建に必要な情報

### 【情報の種類】

○生活再建で必要としている情報としては、全体では、「福島県・避難元市町村の行政サービス情報」が45%、「医療・健康・福祉に関する情報」が40%である。他方で、「特にない」という回答も19%存在する。

※複数回答

	調査数	福島県・避難元市町村の行政サービス情報	福島県・避難元市町村の除染状況	避難先の行政サービス情報	求人情報	住宅に関する情報	学校教育に関する情報	生活設計に関する情報（ファイナンシャルプランナーなどの専門家）	放射線に関する情報	医療・健康・福祉に関する情報	イベント・交流に関する情報	その他	特にない	無回答
全体	12641 100.0	5674 44.9	2317 18.3	3151 24.9	863 6.8	1501 11.9	807 6.4	865 6.8	2579 20.4	5026 39.8	2044 16.2	221 1.7	2426 19.2	1120 8.9

### 【情報の入手状況】

○情報の入手状況としては、全体として、「十分に入手できている」、「ある程度入手できている」を合わせると68%となっている。

		調査数	十分に入手できている	ある程度入手できている	あまり入手できていない	ほとんど入手できていない	無回答
全体		9095 100.0	771 8.5	5431 59.7	1984 21.8	557 6.1	352 3.9
現在の居住地	震災発生時と同じ市町村の地域	1508 100.0	140 9.3	919 60.9	291 19.3	66 4.4	92 6.1
	震災発生時と異なる福島県内の市町村の地域	5015 100.0	424 8.5	3051 60.8	1088 21.7	301 6.0	151 3.0
	福島県外の都道府県	1759 100.0	141 8.0	1032 58.7	419 23.8	114 6.5	53 3.0

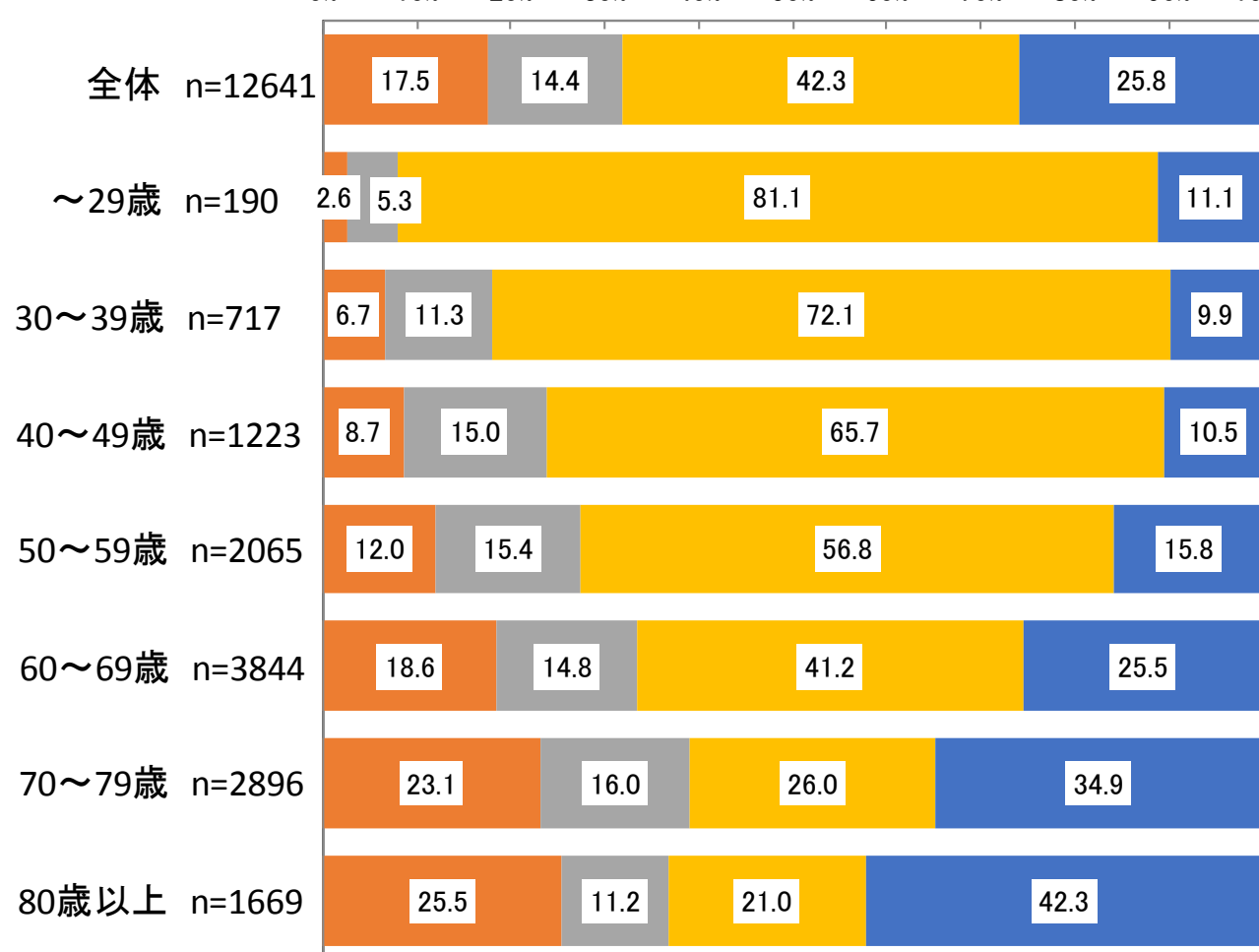
# 5. 生活再建全般

## 戸別訪問

- 戸別訪問としては、60歳以上の回答者は、「今も戸別訪問を受けている」と「以前は戸別訪問を受けていた」を合わせると33～39%となり、60歳未満の回答者と比べて割合が高い。
- 現在、「戸別訪問を受けたことはない」の回答割合は42%、「今も戸別訪問を受けている」の回答割合は、帰還者が22%、県内居住者が20%であり、県外居住者に比べて割合が高い。

### 【年代別】

■ 今も戸別訪問を受けている
 ■ 以前は戸別訪問を受けていた  
■ 戸別訪問を受けたことはない
 ■ 無回答

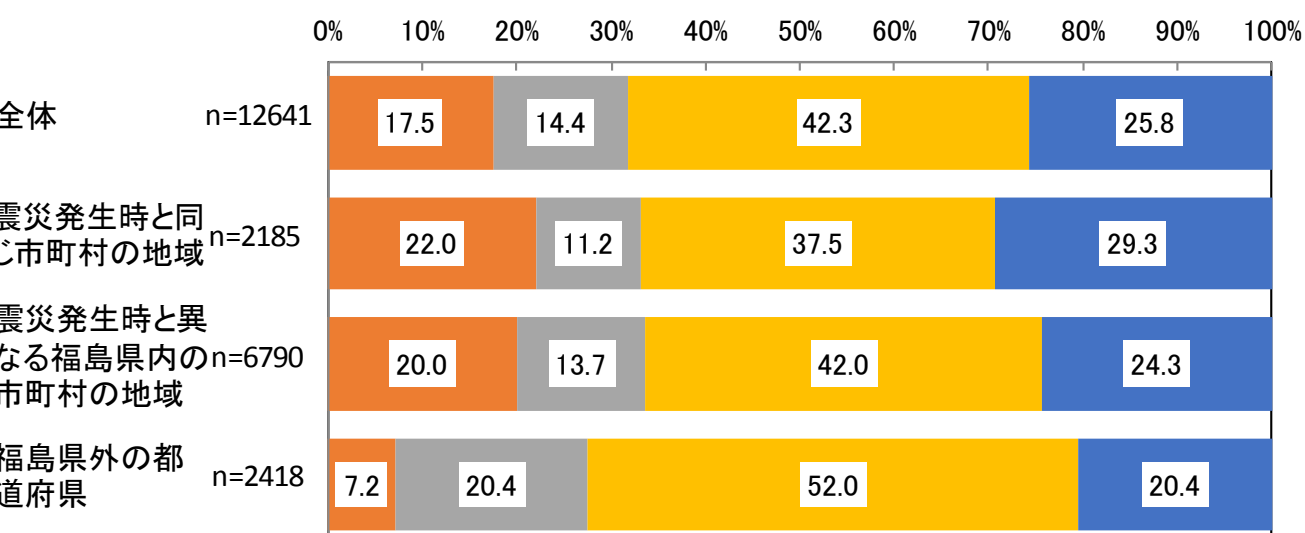


※複数回答

	調査数	な(生社会復復興(民間のNPO法人等)間の相談機関)	復興支援員	避難元自治体職員	福島県職員	チーム(官民合同)	福島相双復興推進	その他	無回答	
全体	4033	2891	666	144	447	95	342	128	174	
	100.0	71.7	16.5	3.6	11.1	2.4	8.5	3.2	4.3	
年齢	～29歳	15	6	2	2	3	-	-	2	3
		100.0	40.0	13.3	13.3	20.0	-	-	13.3	20.0
	30～39歳	129	74	22	8	21	-	3	4	18
		100.0	57.4	17.1	6.2	16.3	-	2.3	3.1	14.0
	40～49歳	291	181	53	18	39	7	27	14	15
		100.0	62.2	18.2	6.2	13.4	2.4	9.3	4.8	5.2
	50～59歳	566	370	85	26	63	6	59	18	18
		100.0	65.4	15.0	4.6	11.1	1.1	10.4	3.2	3.2
60～69歳	1282	908	216	31	152	27	142	39	45	
	100.0	70.8	16.8	2.4	11.9	2.1	11.1	3.0	3.5	
70～79歳	1131	846	188	35	113	36	85	36	42	
	100.0	74.8	16.6	3.1	10.0	3.2	7.5	3.2	3.7	
80歳以上	612	502	98	24	55	19	25	15	31	
	100.0	82.0	16.0	3.9	9.0	3.1	4.1	2.5	5.1	

### 【現在の居住地別（帰還・県内・県外）】

■ 今も戸別訪問を受けている
 ■ 以前は戸別訪問を受けていた  
■ 戸別訪問を受けたことはない
 ■ 無回答



※複数回答

	調査数	な(生社会復復興(民間のNPO法人等)間の相談機関)	復興支援員	避難元自治体職員	福島県職員	チーム(官民合同)	福島相双復興推進	その他	無回答	
全体	4033	2891	666	144	447	95	342	128	174	
	100.0	71.7	16.5	3.6	11.1	2.4	8.5	3.2	4.3	
現在の居住地	震災発生時と同じ市町村の地域	725	601	84	27	52	12	73	22	21
		100.0	82.9	11.6	3.7	7.2	1.7	10.1	3.0	2.9
	震災発生時と異なる福島県内の市町村の地域	2286	1835	220	68	279	30	178	53	78
		100.0	80.3	9.6	3.0	12.2	1.3	7.8	2.3	3.4
福島県外の都道府県	667	191	305	36	80	41	61	45	50	
	100.0	28.6	45.7	5.4	12.0	6.1	9.1	6.7	7.5	